

令和3年度第1回水質専門委員会議の調査結果について

【調査審議結果】

今後、水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定を行う際に検討すべき事項はあるものの、諮問のあった類型指定（案）は、原案どおりとして差し支えない。

【意見の概要及び対応】

意見	対応
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）について、年平均値は環境基準を満たしているため問題はないと思われるが、一時期基準値（0.03mg/L）を超えた地点があるので、注意する必要がある。	今後も注意しながら常時監視を継続する。
今後、類型指定をする際には、特別域を当てはめる場合の明確な基準、考え方を整理していただきたい。	今後、類型指定をする際に、県の考え方を明確に示せるよう検討する。

【開催概要】

- ・日時 令和3年12月9日（木）午前10時から午前11時30分まで
- ・場所 宮城県行政庁舎9階 第一会議室
- ・出席委員 江成敬次郎 委員【座長】
木村美智子 委員
西村修 委員
志賀信浩 委員（経済産業省東北経済産業局 代理出席）
影山桂子 委員（海上保安庁第二管区海上保安本部 代理出席）
八木恵里 委員（国土交通省東北地方整備局 代理出席）
岩館敏昭 委員（環境省東北地方環境事務所 代理出席）
- ・欠席委員 内川靖 委員（農林水産省東北農政局）
- ・議題 南三陸海岸流域及び阿武隈川流域における水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定について

スケジュール

日程	内容
令和3年11月11日（木）	環境審議会に諮問，水質専門委員に付託
令和3年12月9日（木）	水質専門委員会議にて調査
令和4年1月25日（火）	環境審議会より答申
令和4年3月	告示予定